



紙上座談会

現場小中高教諭は語る

新教育課程の移行措置による

修旅の位置づけ

全国的指導書作製は困難か

今日まで修学旅行や遠足等が、校外教育の一環として戦前、戦後を通じて長い間慣習的に各学校において実施されてきたが、文部省は新教育課程の移行措置に伴い、

試案程度は可能 資料の蒐集が急務



清司氏

東京都港区立芝浦小学校教諭清司氏は「小学校では既に三十五年度より新指導要領が文部省より示されて

ての内容の検討が、各県市町村で行われている状況である。しかし文部省には各県の資料に基づいた地域差のある具体的な指示を出さないで、我々が計画表を作成して将来文部省が示すであろう指導書と比較対照する様になる。したがって現状では、遠足や校外学習について、都の連立に基づいたものや従来の慣習によるものとして決定している。小学校の遠足や修学旅行の時間数、教科指導の延長、生活指導、リクリエーション、明確にするには、各教科の内容を分けて研究した結果、

三条件を明確に 地域毎の諸例を

手引を刊行、年間指導計画、遠足実地見学、修学旅行、夏季施設プール施設、運動会、学芸会発表会、卒業入式等八項目に亘つて、法令通達から各校の実施例を統計的に挙げて一応網羅している

主張 修旅の真の目的を凝視せよ

修学旅行の教育的価値については今更かれこれ言必要もない程一般的に浸透して来たことは喜ばしいことである。しかし真実はその目的が認識されてこのことであらうか。最近の修旅に対する関心の傾向を眺めるとき、最も華やかに脚光を浴びているのは所謂専用車である。東京に誕生した「こまどり」と修旅における輪廻の夢が実現した。これに刺激された各地域も、危険

と疲労の強い従来の輪送にあきたらないうで、臨時、或は集約臨時列車で組織的に修旅を実施するようになった。更に組織化された修旅は、旅館その他関係業者に対しては快便的により安全に修旅の準備を強化し、学校の要望が何らかの形で実現されるような傾向となつて来た。

その上戦後の修旅の特色として輪送業者の進出であるが、殆んどが学校の大小の差こそあれ業者の世話による修学旅行が常識となつたのである。こうした結果修旅の実施に当たっての教師の苦勞は次第に軽減され、ともすれば安易な方向をとり、児童生徒もまた、安全と快適さから観光的気風を帯びて来るといふ懸念も出て来るのである。

文部省は新教育課程において修旅を学校行事等の中に位置づけ、その方針を明確に打ち出したのであるが、具体的な指導面については漠然としておらず、その外は外面的な道徳的、団体的な訓練の方面のみが重視され勝ちとなり、肝心の教科との関連においての指導が等閑に付される心配がないではない。修旅は総合的な教育の場に通じ

研修旅行に参加して(2)

松村 治

大修正を加え、一般日本人の同化策案の方策に転じた。血の純潔を重んじて、今昔の若人達は一般に結婚を希望している。混血によつて両民族がより融和発展していくことを心から祈つた。自分たちの見たアイヌ人は、日本の正しい標準語を、自分たち以上に巧みに使いこなしているのに驚かされた。非常に詩的な審美的な種族である。北海道各地の地名の起りはアイヌ語に発するものが多いが、それが非常に文学的な表現だ。山、川、湖も伝説が多く残されている。創造力、そして立派な文学である。創造力も昔から先きの技能も中々器用だ。世にアイヌは「行く」といふように伝えられているが、それは誤りで、史上長い対立を経て独自の文化をもちつたアイヌも、明治以来伝統の生き方に幾種の巨大な鉄筋建築のホテル、別荘



小原 重臣氏

村単位で、計画表や指導書を作る。とすれば、各地域毎に関係者が集つて、集団的のものとして考えてゆけばよい。

しかし、県単位から全国版として修学旅行や遠足等の指導書を作ることは、郷土学習の指導書を作る

積極的対策が必要 各方面を考慮して立案



川合 元彦氏

東京都立白鳥高校教諭川合元彦氏は「学校行事等の領域に入れるべきか、特別教育活動の中に入れるべきか高学年であり、教師の労働過剰を考慮しなければならない。」

研修旅行へ 夏休みの教育視察には絶好の機会!! 先生だけの専用列車で、気軽に行ける 北海道一周・九州一周・東北佐渡(全国) 伊豆箱根富士五湖・小豆島四国(中国・四国) 伊豆箱根富士五湖・小豆島四国(東北・関東)

修学旅行は 多年の信用 誠実なサービス 営業所 全国に120ヶ所 近畿日本ツーリスト

出版界空前のベストセラー これからの地理教育の決定版 日本文化地理大系 全18巻 全巻総アート函入豪華本 各1500円 隔月刊行 第2回配本(関東II) 只今絶賛発売中 東京 神田 小学館